



2022年8月29日

各位

会社名 株式会社極楽湯ホールディングス
代表者名 代表取締役社長グループCEO 新川 隆丈
(コード番号 2340 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員CFO 鈴木 正守
電話番号 03(5275)4126 (代)

債務超過の猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、2022年3月期において債務超過となったことから、本日の株式会社東京証券取引所の発表のとおり、2022年4月4日改正前有価証券上場規程第604条の2第1項第3号の規定に基づき、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

2. 債務超過に至った経緯

当社グループは、日本と中国に大型中型小型の温浴施設を展開及びフランチャイズ展開をしており、安心・安全な衛生管理を心掛け、地域貢献とお客様に癒しの空間を提供することを企業理念として掲げております。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、日本国内で当社グループが展開する温浴施設については、複数回にわたり発出された緊急事態宣言、自治体からの営業時間の短縮要請等に従って休業、営業時間短縮や酒類の提供制限等を行った影響を受け、助成金や協力金等の補助があったものの、各店の営業キャッシュフローは悪化しました。中国でも同様に、中国政府のゼロコロナ政策に基づく上海市のロックダウン等の厳しい行動制限を受け、多くの店舗で臨時休業を強いられるなど各店の営業キャッシュフローは悪化しました。

このような状況の中、世界的なエネルギーやさまざまなコスト高、人件費の高騰など利益を圧迫しております。コスト削減やコラボイベントの強化に加え、適正価格の見直し、投資抑制などの取り組みを推進し、安定資金の確保や収益力の強化を図っておりますが、2022年3月期決算における現時点での将来回収キャッシュフローを各店舗のグループ単位で見積った結果、多くの店舗で減損損失を計上することとなりました。

この結果、2022年3月期の連結業績は、売上高 10,036 百万円（前期比 14.5%増）、営業損失は 568 百万円、経常利益は 751 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は 1,979 百万円となり、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により、12 百万円の債務

超過に陥ることとなりました。

3. 猶予期間

2022年4月1日から2024年3月31日

(注) 2020年4月21日付の株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程等の一部改正により、新型コロナウイルス感染症の影響により債務超過の状態となった場合、上場廃止までの猶予期間が1年間から2年間に延長されております。

4. 今後の見通し

本日、公表いたしました「債務超過解消に向けた取り組みに関するお知らせ」に記載のとおり、業績改善と財務体質の改善に向けた取り組みの遂行により、2024年3月期末までに債務超過解消を目指してまいります。詳細につきましては同資料をご覧ください。

以 上